

## 一般財団法人 有本積善社 第 65 回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和 7 年 2 月 13 日（木）16：00～17：00
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2 階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：  
委員総数： 7 名  
出席委員数： 5 名  
出席委員の氏名： 水嶋純作、山内茂樹、今安博和、楠崇智（メールコメント含む）  
欠席委員の氏名： 尾関善之、松井恭子、山下美晴  
放送事業者側出席者名： ジェネラルマネージャー 時岡浩二  
制作チーフ 奥野あかり  
技術チーフ 上田秀篤

### 4 議題

#### (1) 報告事項

- ① 昨年 11/28（木）のNHK 総合TV「京いちにち」内で、11/8（金）に JCBA 放送賞特別番組部門最優秀賞を受賞した「しばたやひろの舞鶴すごいぜ！」が紹介された。
- ② 昨年 12/15（日）に西市民プラザ 1 階ホールおよび展示室で、朝の番組スポンサーである舞鶴電脳工作室の協力で「ミニ四駆大会」を開催した。
- ③ 昨年 12/22（日）に西市民プラザ 1 階ホールで第 7 回ななこバザールを開催した。同バザールは舞鶴を中心とした地域のお店や作家さんの手作り市。1/26（日）には第 8 回を開催した。毎月第 4 日曜日に西市民プラザで開催している。第 7 回には暖かいスープとパンの販売を、第 8 回では暖かいおでんを販売し好評であった。FM まいづるが企画・運営している。
- ④ 昨年 12/29（日）9：00～10：15 に西市民プラザで消防訓練が行われ、FM まいづるの局員も参加した。
- ⑤ 昨年 12/30（月）～今年 1/3（金）までは年末年始の編成で事前に収録した特別番組や過去評価が高かった収録番組を再放送した。
- ⑥ 毎年恒例のラジオ年賀状は 20 社から申込みがあり、1 本 2 分の小番組（2 分内に 2～4 社の年賀状）として 1/1（水）～7（火）まで延べ 68 回放送した。これによる売上は 215,000 円であった。
- ⑦ 1/12（日）13：30～15：30 に舞鶴市「二十歳の集い」を赤れんがパークから生中継放送した。
- ⑧ 1/31（金）に一般公募した受講生（今回は 2 名）を対象に「第 1 回話し方講座（7 回シリーズ）」を開催した（有料）。講師は FM まいづるのパーソナリティ。従来のパーソナリティ研修の前段階の位置づけで、幅広く「話し方」を講習する。この講座の修了者は従来のパーソナリティ研修に進む可能性がある。第 2 回は 2/28（金）予定。
- ⑨ 4/19（土）、4/20（日）に舞鶴港第 3 埠頭ハーバーパークで開かれる「まいづるプレイバックフェス 2025」の事前生読み CM を主催者から受注し、2/4（火）から随時放送している。

#### (2) 番組審議：

番組審議：1/25（土） 14：00～14：29 放送の「ななこウィークエンドプラス」

パーソナリティ：G（女性）と M（男性）の 2 人組

## 5 議事の概要

- ① 上記（1）項の報告内容を審議委員に説明。
- ② 上記（2）項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

## 6 審議内容

### 【審議番組に対する委員の主な意見】

- ① パーソナリティ2人の自然なフリートークがとても聴き心地が良く好印象。地域情報部分へのトーン変更も最適と感じた。
- ② 2人の掛け合いのテンポがよい。じっくり聴く感じではないが、楽しめる感じがした。
- ③ 落ち着かない感もあるが、いつもと違う感じで楽しめた。
- ④ 2人のコンビネーションがよい。息はピッタリである。FM ラジオ放送というより AM ラジオ的ではあるが、コミュニティ FM でもこのようなパターンがあってもよい。
- ⑤ FM まいづるのパーソナリティの中では異色であるが、全体的には、いいパーソナリティである。
- ⑥ 1/25（土）の放送だったが、内容で正月に関することがあったことから、正月に近い日の放送のほうが、タイムリーな感じがする（収録放送のため、放送日に合った話題を選択すべき）。
- ⑦ 最初の曲が短すぎ。もう少し長く流したほうがよい。
- ⑧ 最後の1分間ぐらいは何の時間か分からなかった。最後に2人の声で番組を締めしてくれるものと期待していた（最後の曲が早く終わったので、埋めるためにフィラー音楽を入れたため）。

### 【他の番組に関する意見】

\* ニュースの同じ箇所でも、2回以上詰まったり言い直したりする場合があります。非常に聴きづらい。下読みを十分にするとともに、普段からテレビ・ラジオのニュースを聴くなど時事用語に親しんでおくようにしてほしい。

→ 局回答：局としてニュースは大事にしているところであるので、再度パーソナリティ全体に周知するとともに、資質向上のための施策を考える。

## 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を局内会議で確認した。上記の意見を、パーソナリティにも伝えるとともに番組編成・構成に生かしていくこととした。（令和7年2月20日）

## 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 令和7年2月22日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できるようにした。
- ② 令和7年2月22日 この審議会議事概要をホームページに掲載した。

## 9 その他の参考事項

なし

以上